

千産医第 号
平成 24 年 12 月 日

千葉県産科婦人科医学会会員 各位

千葉県産科婦人科医学会
代表理事 十河 正寛
理事 生水真紀夫
千葉県がん診療連携協議会・子宮がん部会
部会長 佐々木 寛

子宮がん地域連携クリティカルパスについて

拝啓 寒冷の候、先生におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、子宮頸がんの罹患は20代と50代に大きな山が有り、特に若年者の子宮がんは、妊よう性に大きな影響があり少子化問題に直結します。

厚生労働省は、がんの検診率を50%に引き上げるべく対策を講じる予定ですが、検診率の大幅な上昇により要精検者、要治療者の激増する事が予測されます。

千葉県がん診療連携協議会・子宮がん部会では、子宮がんの地域連携クリティカルパスの検討をして参りましたが、詳細が決定いたしましたのでご連絡いたします。

会員各位におかれましては、がん検診率の向上にご協力頂くとともに、がん拠点病院と連携して術後の患者さんの長期管理にご参加頂きたいと思っております。

臨床期に応じた検査・診察間隔を千葉県全体で統一し、一般産婦人科医療機関とがん拠点病院を交互に受診する事になりますので、見落としなどのリスクは殆ど無くなります。

再発・進行の早い症例は連携パスの対象にはなりませんので、会員各位の積極的な参加をお願いいたします。

術後の患者さんの身体的負担を軽減すると共に、拠点病院の負担軽減を図り、より高度な診療に邁進できる体制を確立してまいりたいと存じますので、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

敬具

千葉県共用がん地域医療連携パス要旨

各地区産婦人科医会または子宮がん拠点病院ごとに説明会が開かれる事と思いますが、子宮がん連携パスの要旨をお知らせ致します。

- 1：千葉県内の子宮がん拠点病院と地域の医療機関が協力して、
子宮がん患者さんの管理を行います。患者さんの通院の負担、
拠点病院の外来負担を軽減する事が目的です。
- 2：現在でも行われている、子宮がん検診で精密検査が必要な患者さんを精密検査
実施医療機関に紹介します。
これは通常の診療情報提供料（250点）で対応します。
- 3：がん拠点病院で子宮頸がん1A1期、子宮体がんステージ1Aの手術をした患
者さんの術後フォローアップをパスに従って管理します。（がん治療連携指導
料（300点）が算定できます。）

（詳細は別記）

- 4：各医療機関は近隣の子宮がん拠点病院に連携パス参加医療機関として登録しま
す。関東厚生局には各拠点病院から登録申請されます。（**施設内禁煙が必須条
件です。院内に禁煙を掲示する**）
術後の患者さんの居住地に近い医療機関、又は患者さんの希望する産婦人科診
療所に拠点病院から、患者さんが紹介されます。
- 5：連携病院は診療計画に定められた検査を実施し、検査結果を
拠点病院に報告（患者さんに持参させる、または郵送・Fax等で伝達）「がん
治療連携指導料」は患者さんの再診が無くても、情報を提供すれば算定できま
す。

レセプトに「子宮がん地域連携パスで管理中」の注記を入れる。

6：メリット

- ①：患者さんは毎回混雑する遠方のがん拠点病院を受診する
負担が軽減される。軽微な異常は近くの連携医療機関への
受診で済ませることが出来る。
急変時はいつでも拠点病院が受け入れる。
- ②：各医療機関は子宮がん患者さんの術後の経過を管理し、
拠点病院との連携が強化され、最新の医療情報が取得
出来ると共に、診療上も高度な検査の実施が可能となる
- ③：拠点病院は経過良好な術後患者さんの外来診療を軽減でき
重症者の診療に重点を移せる。

7：千葉県がんセンター作成の手帳を使用する予定です。

登録 No □□○○○○○

上2桁（□□）は拠点病院の番号に統一します

その後（○○）に各拠点病院の患者管理番号が入ります。

※：手帳への記載だけでは連携指導料は算定出来ません

8：実施（詳細は運用の手引き参照）

子宮頸がん I a 期・子宮体がんステージ I A

がん拠点病院で手術ご連携パス規定に沿う患者さんが
本人の希望 or 居住地近隣の診療所に紹介されます。

診療経過表—1 を持参

各診療所では「診療経過表 No.1・2」に記載された検査を実施し「経過
表—2」に検査結果を記入し、拠点病院に送付

（郵送・Fax で送付する場合は患者さんの再診が無くても、「がん治療連
携指導料」が算定できます）。

患者さんが3か月ごとに連携医療機関と拠点病院を受診します。（ ）の
検査は必要に応じて実施します。

患者さんの持っている手帳に記載しただけでは算定出来ません。

子宮がん地域連携パス登録番号

□□○○○○○○

・上2桁(□□)は拠点病院番号(下記)

・3桁目以降(○○..)は各病院患者管理番号

①: 病院番号

- | | | |
|---------|----|----------------|
| I : | 01 | 国立がん研究センター東病院 |
| II : | 02 | 千葉県がんセンター |
| III : | 03 | 千葉大学医学部附属病院 |
| IV : | 04 | 国立病院機構千葉医療センター |
| V : | 05 | 船橋市立医療センター |
| VI : | 06 | 東京歯科大学市川総合病院 |
| VII : | 07 | 順天堂大学医学部附属浦安病院 |
| VIII : | 08 | 東京慈恵会医科大学附属柏病院 |
| IX : | 09 | 松戸市立病院 |
| X : | 10 | 成田赤十字病院 |
| X I : | 11 | 国保旭中央病院 |
| X II : | 12 | 亀田総合病院 |
| X III : | 13 | 君津中央病院 |
| X IV : | 14 | 千葉労災病院 |

「千葉県共用がん地域医療連携パス」運用の手引き（案）

＜子宮がん＞

1. 目的

千葉県共用がん地域医療連携パス＜子宮がん＞（以下、「連携パス」という。）は、患者に安心して質の高い医療を提供するため、計画策定病院（専門医）と連携医療機関（診療所等）が患者の治療経過を共有するためのツールとして活用されることを目的としています。

なお、本パスは今後、変更の可能性があります。

2. 連携パスの構成

（1）連携パスの種類

子宮頸がん検診

- ・細胞診陽性パス
- ・生検陰性パス
- ・精査治療パス
- ・円錐切除後経過観察パス

子宮がん治療後

- ・子宮頸がん IA1 期/子宮全摘出後/経過観察パス
- ・子宮体がんステージ IA パス

（2）連携パスの書式

子宮頸がん IA1 期/子宮全摘出後/経過観察パスと子宮体がんステージ IA パスは、診療役割分担、診療計画、診療経過で構成されています。

診療計画表	<p>患者の入院中に行われた治療や、退院後の受診や検査、治療の予定を記載したもので、計画策定病院（専門医）が作成し、患者や家族へ説明し交付します。</p> <p style="text-align: center;">*</p> <p style="text-align: right;">診療役割分担を含む。</p>
診療経過表	<p>患者の基本情報や、退院後に計画策定病院（専門医）と連携医療機関（診療所等）での受診の結果（検査や診療等）を記載し、医療機関同士が診療の経過を共有するものです。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <p>計画策定病院（専門医）記入</p> </div> <p>→（診療経過表-1）患者氏名、入院時や退院時の状況等の基本情報欄</p> <p>→（診療経過表-2）退院後の計画策定病院（専門医）での受診結果欄</p>

連携医療機関（診療所等）記入

→（診療経過表-2）連携医療機関（診療所等）での受診結果欄
（記載方法）

- ・ 腫瘍マーカー等、バリエーションの判断に必要な診察、検査は必ず記載する。
- ・ CBC、肝機能、腎機能の検査の結果は、□正常、□異常のどちらかにチェックし、異常の場合は数値を記載する。
- ・ 検査の結果が正常な場合や、記載しきれない場合は、「別添」と記載してデータを添付する。
- ・ 設定されている診察、検査の項目以外に実施した場合の結果は、余白欄を使用するか、余白欄に別添と記載しデータを添付する。

*

診療役割分担を含む。

3. 運用の方法**(1) 連携パスの適応開始**

子宮頸がん I A 1 期/子宮全摘出後/経過観察パスと子宮体がんステージ I A パスは、連携医療機関（診療所等）での治療が可能な子宮がん患者に適応を開始します。

子宮頸がん I A 1 期/子宮全摘出術後/経過観察パスの適応

- ・ 子宮体がん
- ・ 臨床進行期 I A 1 期
- ・ 子宮全摘出術後
- ・ 微小浸潤扁平上皮癌
- ・ リンパ節転移なし
- ・ 脈管侵襲なし
- ・ 切除断端陰性
- ・ 追加治療なし

子宮体がんステージ I A パスの適応

- ・ 子宮体がん
- ・ 手術進行期 I A 期
- ・ 子宮全摘出術後
- ・ 子宮体癌の術後再発リスク分類が低リスク群である
- ・ 切除断端陰性
- ・ 追加治療なし

※ 計画策定病院（専門医）は、患者に対して連携医療機関（診療所等）と連携して診療を行う旨を説明します。

(2) 運用の手順

① 計画策定病院（専門医）

ア 診療計画表、診療経過表の作成

計画策定病院（専門医）は、入院中または、退院後 30 日以内の患者に対して、患者の同意を得た上で診療計画表、診療経過表を作成します。

イ 患者への診療計画表の交付

計画策定病院（専門医）は、入院中または、退院後 30 日以内の患者に対して、診療計画表について説明し、交付します。

※ その他、患者に診療経過表の写しを交付することも可能です。

ウ 連携医療機関（診療所等）への診療計画表の写し、診療経過表の送付

計画策定病院（専門医）は、退院時または、退院後 30 日以内に、患者に交付した診療計画表の写し、診療経過表を連携医療機関（診療所等）へ送付します。

なお、連携医療機関（診療所等）への送付は、当該書類を患者へ持参させる、直接郵送するなど、適宜柔軟に運用するものとします。

② 連携医療機関（診療所等）

ア 診療計画表の写し、診療経過表の保管

連携医療機関（診療所等）は、計画策定病院（専門医）から送付された診療計画表の写し、診療経過表をカルテに保管するとともに、患者の診察時に随時該当項目に記入し・保管するものとします。

イ 計画策定病院（専門医）への診療経過表の送付（患者が計画策定病院受診する時）

連携医療機関（診療所等）は、患者が計画策定病院（専門医）外来を受診する時には、患者の同意を得た上で、診療経過表を計画策定病院（専門医）へ送付します。

なお、計画策定病院（専門医）への送付は、当該書類を患者へ持参させる、直接郵送するなど、適宜柔軟に運用するものとします。

ウ 計画策定病院（専門医）への診療経過表の送付（連携パスの運用期間終了時）

連携医療機関（診療所等）は、運用期間終了後、診療経過表を計画策定病院（専門医）へ送付します。

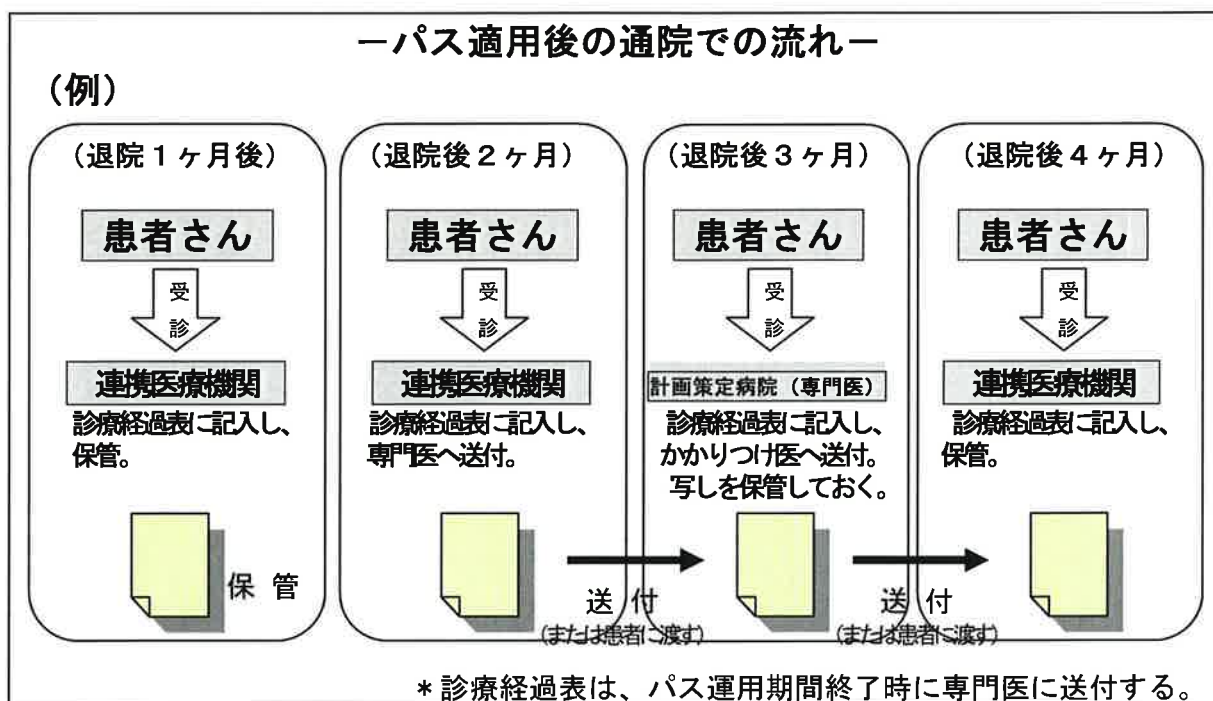
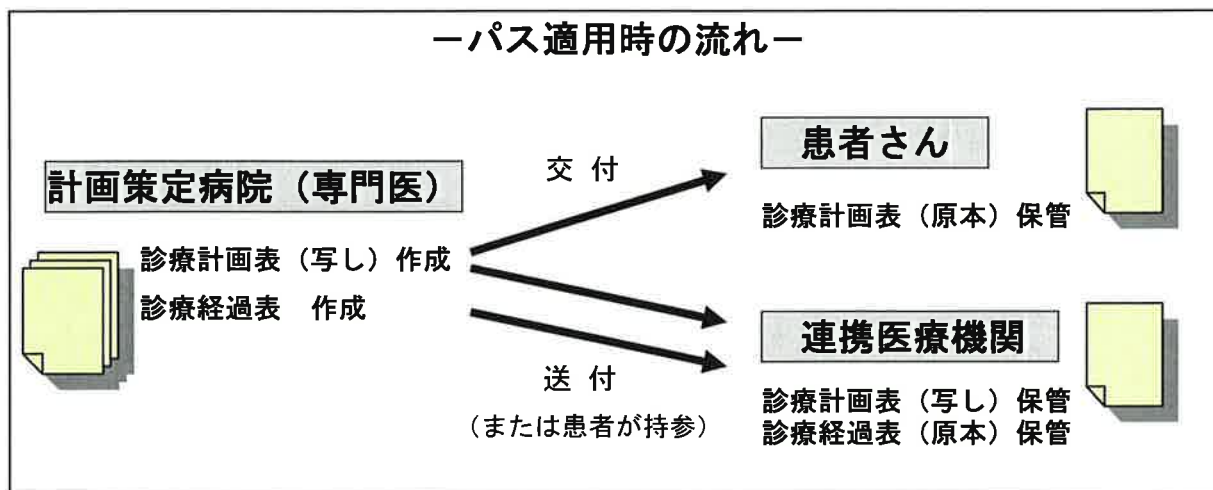
なお、計画策定病院（専門医）への送付は、直接郵送または、ファックスなど、適宜柔軟に運用するものとします。

③ 患者

患者は、診療計画表及び診療経過表の写しを保管・管理するものとします。

④ その他

計画策定病院（専門医）及び連携医療機関（診療所等）は、他方の医療機関への連携パスの送付時には、適宜控えをとるなど当該パスの紛失等に備えるものとします。



(3) 連携パスの作成・保管一覧

	計画策定病院 (専門医)	連携医療機関 (診療所等)	患者
診療計画表	<ol style="list-style-type: none"> 作成 患者へ交付、連携医療機関へ送付 保管 	保管	保管
診療経過表	<ol style="list-style-type: none"> 作成 退院時、連携医療機関へ原本を送付 患者が受診した時は、写しをとっておく。 パス運用終了時は、原本を保管。 <p>* 患者から希望があれば、写しを患者に渡す。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 原本を保管（パス運用中） 患者が計画策定病院へ受診する時は、同病院へ送付。 パス運用終了時、原本を計画策定病院へ送付。 	写しがあれば保管

(4) バリエーション例（逸脱例）

連携医療機関（診療所等）において、診療経過表に記載された項目に異常を認めた場合は計画策定病院（専門医）への紹介を推奨します。

診療経過表に示した条件以外の場合でも診療上不明な点は計画策定病院（専門医）にお問い合わせください。

また計画策定病院（専門医）は連携パスの適用を中止する逸脱バリエーションとすべきか、診療後再び連携医療機関（診療所等）に管理を依頼するかを判断してください。

(5) 患者の緊急時の対応

患者の緊急時などは、患者の状態及びこれまでの治療経過等を踏まえ、連携医療機関（診療所等）と計画策定病院（専門医）が連絡をとり、適宜適切な対応をとることとします。

(6) 連携パスの運用期間

連携パスの運用期間は、連携医療機関（診療所等）の元で連携パスによる診療を開始してから子宮頸がん IA1 期/子宮全摘出術後/経過観察パスは 5 年間、子宮体がんステージ IA パスは 10 年間の目標とします。

当該期間満了後または、パスでの診療を中止した時点で連携医療機関（診療所等）は、診療経過表を計画策定病院（専門医）へ送付します。

期間満了の場合でその後も、連携医療機関（診療所等）と計画策定病院（専門医）が双方連携のもと、継続して連携パスを運用していくことも可能とします。

4. 連携医療機関（診療所等）と計画策定病院（専門医）との連携

連携医療機関（診療所等）と計画策定病院（専門医）は、相互に連携を図り、パスの円滑な運用と患者のパスの脱落防止に努めるものとします。

5. その他

本パスは、千葉県がん診療連携協議会が千葉県医師会の協力により作成したものです。地域の実情に応じて改良し、ご活用いただくことも想定しております。

なお、改良された場合は、「千葉県共用地域医療連携パス専用ホームページ」(<http://www.renkei-path.org/>)へ改良に関する情報をご提供くださるようお願いいたします。